

掲載日	令和2年7月3日
氏名(漢字)	田中 利砂子
氏名(ふりがな)	たなか りさこ
氏名(ローマ字)	TANAKA Risako
最終学歴	熊本県立大学大学院文学研究科修士課程日本語日本文学専攻(2003.3)
取得学位	修士(文学)
所属	国際教養学科
職位/役職	講師/学生部主任
研究室名	日本語学・日本語教育研究室
専門分野	日本語学・日本語教育
授業科目	ビジネス文書、日本語言語表現、大学編入演習、大学編入実践演習、小論文演習、面接指導演習Ⅰ・Ⅱ
教育実践における創造的 または工夫した取り組み例	①プロジェクトワーク・プロジェクト学習の実践(2005.7.11~7.20および2018.5.8~6.1) ②参加型学習の実践(2011.11.10~11.24および2017.9.23~2018.2.10) ③協働学習の実践(2018.8.23) ④アカデミック・ジャパニーズにおける「発信型スキル」習得のための実践(2018.4.9~7.23)
職務上の実績	【資格・免許】 ①中学校・高等学校教諭専修免許状(国語)
研究テーマ	三尾砂の文類型について
研究業績	【著書】 ①『これが九州方言の底力!』(〔共著〕、大修館書店、2009.5) 【論文】 ①「多言語社会における教科教育—社会科教科書の文章理解に関する研究—」(〔共著〕、『宮崎大学教育文化学部紀要 人文科学』、第19号、39~50頁、2008.9) ②「現代語の『こそ』構文とモダリティ形式」(〔単著〕、『解釈11・12月号』、第64巻、2~11頁、2018.12) ③「現象文について」(〔単著〕、『解釈11・12月号』、第65巻、36~46頁、2019.12) ④「三尾砂による文類型を再考する—「場」と「文脈」の概念に注目して—」(〔単著〕、『南九州短期大学研究紀要』、第26号、1~16頁、2020.5) 【学会発表等】 ①「外国人児童における社会科教科書の日本語理解—栃木県真岡市における調査から—」(〔共同〕、中部言語学会、2007.12) ②「宮崎方言における形容詞の一段活用化—宮崎県南部域の現況と全国分布—」(〔共同〕、九州方言研究会、2008.1) ③「宮崎方言における形容詞の一段活用化—その発生要因と宮崎県南部域の現況—」(〔共同〕、日本方言研究会、2008.5) ④「外国人児童の教科書理解度に関する研究—社会科教科書を用いた語彙調査から—」(〔共同〕、日本語教育学会、2008.10) ⑤「外国人児童生徒の文章語理解について—ことばの意味が『わかる』ということ—」(〔共同〕、日本語学会、2009.5) ⑥「現代語の『こそ』構文とモダリティ」(〔単独〕、熊本県立大学・三江学院日中国際日本語研究フォーラム、2012.8) ⑦「現象文について」(〔単独〕、解釈学会、2019.8)
現在所属している学会	解釈学会、日本語教育学会、専門日本語教育学会、留学生教育学会、九州日本語教育連絡協議会
社会貢献活動	①小林市地域日本語教育スタートアップ事業コーディネーター(2019.4~現在) ②地域日本語教育体制整備事業(宮崎県委託事業)有識者(2019.9~現在) ③大塚台まちづくり推進委員会主催 多文化共生に関する講演会講師(2019.9.5)